

～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・

## 府立学校メール・マガジン

No. 1 R3/5/20

～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・～\*～・

教育振興室（高等学校課・高校再編整備課・支援教育課・保健体育課）から、府立学校の校長・准校長の先生方に月1回（原則として各月20日）の予定でメール・マガジンをお届けします。

内容は、教育に関するニュース、府教育庁からのお知らせ、府立学校の取組みの紹介などです。

本メルマガに、「本校の取組みを掲載して欲しい」などのご要望がございましたら、高等学校課学校経営支援Gまでお寄せください。可能な限り対応させていただきます。

### <目次>

#### 最近の教育関係のニュース・トピックス

（1）朝学による新たな取組み ～論理的思考力や読解力の育成にむけて～

（桜塚高等学校）

（2）第69回読売教育賞「カリキュラム・学校づくり」部門で最優秀賞を受賞しました！

（三国丘高等学校）

（3）豊中高校 緊急事態宣言下の創立100周年記念式典

（豊中高等学校）

（4）アーティスティックスイミングスペインチームとのオンライン交流

（だいせん聴覚支援学校）

## ■ 最近の教育関係のニュース・トピックス ■

### (1) 朝学による新たな取組み ～論理的思考力や読解力の育成にむけて～

(桜塚高等学校 田尻 肇 校長先生からのご寄稿です。)

本校では、この春より毎朝 10 分間、出口 汪(でぐち ひろし)先生が開発した独自の育成プログラム「論理エンジン」を活用して、論理的思考力や読解力の育成に取り組んでいます。

今般、社会の情報化によりコミュニケーションツール等の利便性は飛躍的に高まりましたが、SNS 等による単語を羅列した会話や映像などのビジュアルによる情報伝達が増加することに伴う子どもたちの読解力低下が大きな課題となっています。OECD が世界 79 カ国・地域の 15 歳を対象に 2018 年に実施した国際学習到達度調査 (PISA) の結果では、日本は読解力が前回 (15 年調査) の 8 位から 15 位と大きく後退しています。

また、大学入試センター試験に代わり新しく開始された「共通テスト」においても「読解力」を必要とする問題形式が顕著となっています。

#### 1 教職員研修の実施

今回の取組み導入にあたっては、昨年度から準備を開始し、指導する教員がその趣旨を理解することが大切と考え、「論理エンジン」著者である出口先生をお招きし、教職員研修を実施しました。

#### 2 「論理エンジン」の効果的な活用に向けて

代々木ゼミナールや東進ハイスクールで長年に渡って国語科の指導をされてこられた出口先生が開発された「論理エンジン」を活用した朝学習 (毎朝 10 分間) でコツコツと取組むことにより読解力の獲得をめざしています。具体的取組む姿勢等については、出口先生に来校頂き、「論理エンジン」の進め方や意義などについて理解を深めるための講演を行っていただきました。

出口先生曰く、「論理的思考力」とは、ものごとを筋道立てて捉える力で人とのコミュニケーションを取る際、自分の考えを伝えたり他人の考えを読み解いたりするうえで、とても大切な力であるとともに、学習においても、文章を筋道立てて追うこと、すなわち論理的に読むことができれば、現代文の得点が伸びるだけではなく、英語、古文、漢文などの読解力、



<教職員向け研修風景>



<生徒向け講演会風景>

さらに数学や理科の文章問題を解く力もアップするとのことでした。コツコツとおこなう積み重ねが、このように課題とされる読解力の向上や、自己実現を大きくサポートする論理的思考力の育成に繋がることを期待しています。

### 3 効果検証～リーディングスキルテスト（RST）～

また、本校では、生徒自身がそれぞれの力および課題を把握するために、年2回の「リーディングスキルテスト」を実施することとしています。このテストは、「AI vs 教科書を読めない子どもたち」の著者新井紀子先生が開発した、文章に書かれている意味を正確に捉える力を測定・診断するツールです。読解プロセスごとに6つのタイプから構成されており、それぞれのタイプで読解の能力値をはかることができます。4月22日に2年生、5月6日に1年生が実施し、各自のクロームブックを活用することにより自分の結果をその場ですぐを知ることができました。次回は12月に実施する予定です。



<リーディングスキルテスト実施風景>